## ＮＰＯと行政の協働促進検討を

**川島龍子（社・民・生ネ）**

問　ＮＰＯへの市の事業委託が少しずつふえているが、なぜＮＰＯと協働するのか、明確な方針を定めるべきではないか。ＮＰＯ育成を考慮したルール化について問う。

**高山助役**　市民活動支援に関する検証及びルール化について、昨年、企画部にプロジェクトチームをスタートしました。四月からは市民にも入ってもらって、各種の分野にわたる団体の調査をしていきたい。

問　東京都が「緑の東京計画」を策定した。町田市の緑の基本計画と同様、緑の保全、創出にはＮＰＯ、市民団体との連携を提言している。人づくり、組織づくりの具体策を問う。

**都市緑政部長**　自然観察センターの中で、指導者の育成の講習会、あるいはレンジャーの育成も含め、活動を積極的にやっていきたい。

問　健康づくりを進めるために地域住民をサポートする医師会の役割について問う。

**保健介護推進担当部長**　医師会並びに歯科医師会の協力を得て健康づくりの講習会、講演会等を行っています。また、保健協力員が町内会、老人会等の要望を受けて、地域へ健康講座等でこちらから保健婦等を派遣する形です。

## 学校の教育環境整備を求めて

**細野龍子（日本共産党）**

問　子どもたちの願いにこたえる学校にするため、三〇人学級実現や、Ｔ・Ｔ教員の加配を市独自で行うつもりはないか。

**教育長**　財政の問題、採用教員の身分とか国の事業との整合性だとか、さまざまな問題があるので、市独自で三〇人学級というのは難しいと考えています。

問　スクールカウンセラー全校配置を早急に行うべきだがどうか。

**教育長**　配置校の拡大について、ぜひ実現したいと思っており、引き続き都に対し要望を行い、実現を目指していきたい。

問　快適に過ごせる学校施設にするため、トイレの改善、ＦＦ式暖房への移行、机いすの交換を行うべきだが。

**教育長**　校舎全体のトイレ改修は基本的には、大規模改造工事の機会をとらえ、可能な限り行っています。

問　町田市に医療的ケアの必要な重度心身障害者も卒後通える通所施設を。

**高山助役**　国や都の制度としてない以上、重度の部分まで責任を持つことは難しいと考えており、在宅ケア問題を含めて、国に要望しながら、充実できるよう呼びかけていきたい。

## 重度重複障害者施策の充実を

**中山勝子（市民派クラブ）**

問　医療的ケアが必要に応じて受けられる療育施設、訓練施設の整備計画を問う。

**高山助役**　重度心身障害者の対応をどうするか花の家を中心に検討して、中間答申をいただきました。これを全市的に検討会をつくって、本年度、報告に基づいて都と本格的な交渉をしていきたい。

問　緊急一時保護の増床とレスパイトの制度化は。

**高山助役**　今までの実態をより利用していただくように努力してきたい。

問　市民病院に特別外来日を設置することに対しての検討報告を問う。

**市民病院長**　検討しましたが無理なようです。ただ、例えば、他の施設が将来使えるのであれば、その移行期として、二カ月に一回でも設けられないか努力してみたい。

問　ＪＲ町田駅南口は市街地再開発事業組合の準備会が解散した後、基盤整備が不十分なまま大型マンションの建設等で大きく変貌している。相模原市との業務移都市構想において協議すべきでは。

**市長**　都市計画道路とは言わないまでも、あの地域をもう少しクリーンな状況を確保するという意味で、両市の一つの懸案としてこれからも取り組んでいきたい。

## 二一世紀の町田のまちづくりは

**田中修一（社・民・生ネ）**

問　二一世紀の初めにあたり、町田の町づくりを市長はどう考えているか。

**市長**　町田市の今の環境を守りながら、経済的な地盤を可能な限りしっかりと築いて、文化、福祉の充実した、周囲からも敬愛される自治体にしたいと考えています。

問　モノレールの多摩センターと町田間のルートの進捗状況はどうなっているか。

**市長**　都市計画道路として整備ができているというと、距離にすると三分の一できているかなという感じです。

問　成瀬駅のホームへのエレベーター及びエスカレーターの設置について、見通しはどうか。

**市長**　担当者レベルでは、ＪＲとしてはホームの幅、階段の状況等からエスカレーターについては、困難性を主張しているようで、当面はエレベーターを優先させようと現在詰めています。

問　町田駅周辺について基本構想を策定して交通バリアフリーの一体的な取り組みが必要と考えるが、市の取り組みはどうなっているか。

**市長**　学識経験者を交えて庁内の関係職員とチームをつくり、町田駅及び周辺のバリアフリー計画を検討中であり、近くまとまるはずです。

## 山崎第二スポーツ広場について

**進木　忠（公明党）**

問　市民の生命を守る二四時間対応の市民病院の救急医療の充実と休日・夜間診療の充実や小児科の充実は、どうするのか。

**市民病院長**　現在ある七科の先生方が救急の一つの部門、単位として協力できるような体制を強固につくっていきたい。小児救急は、医師会と話して市として小児科医療の方向性をきちんと出すべきと思っています。

問　山崎スポーツ広場は、都から返還要請があるが、継続使用を望む声に対して、町田市は、買い取る用意はないか。

**市長**　住宅局所管の段階では、従来から時価の二分の一で買収することが建前になっており、わずかな期間でありますが、条件の良い時期に買収のめどをつけたいと思います。

問　生涯学習として、町田の伝承「こどもの遊び」・「わらべ唄」・「童謡」の伝承伝言について、音と映像で保存する用意はないか。

**教育長**　昔の遊びや歌を子どもたちに伝えていくことは大切なことだと思います。学校では総合的な学習の時間で取り上げています。遊びについては、ビデオに収録することも検討したいと思います。

山崎第２スポーツ広場

## 地域産業の支援対策について

**高嶋　均（日本共産党）**

問　六年前に作成した商工業基本計画でのアンケート調査以後、中小業者への実態調査は行ったのか。

**牧田助役**　既存の産業統計資料の活用とか、市の経営相談や商工会議所の相談業務等、連携を密にしながら情報収集を行って、実態把握に努めています。

問　すべての工事案件を対象として最低制限価格を設け入札金額との割合は八〇％以内と設定すべきと思うが。

**総務部長**　昨年九月から三、〇〇〇万円以上について最低制限価格を設けているところです。現在、制限価格の率をどうするか細かく分析していませんけれども、変えることについては、状況を見ながら、検討していきたい。

問　公平性・透明性をはかる入札実施のために、予定価格の積算資料、落札業者の積算資料の提出はできるか。

**総務部長**　新しく中央建設審議会で検討した契約適正化指針等も、まだその辺まではいっていませんので、もう少し検討したい。

問　家電リサイクル法が始まるが、自治体に直接持ち込まれた家電の対応は。

**牧田助役**　基本的にはリサイクル文化センターでは扱わない形で持っていきたい。

## 介護保険のあり方の転換を指摘

**川畑一隆（公明党）**

問　介護保険の現状（対象者、利用者など）は、当初計画とどのような差があるか。特に、利用状況を問う。今後在宅サービス拡充への転換を図る必要がある。取り組みを問う。来年四月まで、現保険料の維持を求める。

**高山助役**　在宅のヘルプサービスの充実をやっていきます。一四年度、保険料は、改定せざるを得ない。

**保健介護推進担当部長**　二月一日現在、加入者は一号被保険者が五万五、〇〇〇人ほどいて、うち、介護認定を受けた方が六、四六〇人です。施設サービスは月平均一、三一五人、在宅サービスは月平均三、六〇〇人程度です。

問　多摩境駅周辺のまちづくりを問う。小中学校の設置、行政サービス、町名区域の取り組みを聞く。

**市長**　小学校は、早い時期に建設の見通しを立てる必要があるので、協議を都と行っています。町名は、幾つかに分けていくことが必要だと思います。

問　二一世紀に求められる地域センターの機能を見直す必要がある。取り組みは。

**高山助役**　今、市民部の中に市民センターのあり方研究会があって、市民部と企画部で研究をしています。